

# 総務文教常任委員会

## 小・中学校に1人1台のタブレット端末を購入

9月定例会の総務文教常任委員会では、新角館庁舎完成後の組織再編や令和元年度の決算、令和2年度の補正予算について審査されました。補正予算では、今年度開業した総合給食センターの設備の不備やこれまでの運営状況などが議論されました。

### ■一般会計補正予算 主な内容

クニマス未来館管理運営費	135万円	コロナ感染症対策（検温器等）の備品購入費
GIGAスクール構想推進事業費	1億4,130万円	文科省の補助事業による小・中学生1人1台のタブレット端末購入
小学校保健特別対策事業費	650万円	小学校でのコロナ感染防止対策費（各小学校の判断で活用）
中学校保健特別対策事業費	500万円	中学校でのコロナ感染防止対策費（各小学校の判断で活用）
給食センター管理運営費	100万円	ガス料金の増額補正（当初の見込みより増加しているため）

### 新角館庁舎の12月開庁に合わせた組織再編に関する条例案を議論

市当局からは、「条例制定は、新角館庁舎に事業部門を集約するメリットを最大限に生かすため、これまでの観光部門に、文化財保護と創造、スポーツ担当の部門を移管し、新たに「観光文化スポーツ部」として、一元的視点で事業を実行できるようにするためである。」との説明がありました。各委員からは、文化財課の市長部局移管の弊害、市民への説明の必要性、市役所職員の理解等について質疑が集中しました。

**反対討論** 法律改正により文化財課は市長部局に移管できるが、検討課題が多数ある。市民の意見を求めるなど12月定例会までの間に検討した上で、議会のコンセンサスを得る必要がある。

**賛成討論** 町村合併以来、初めて事業部門が1つの建物にまとまる機会であり、組織再編には絶好のタイミングだ。文化財課をどこで所管しても、これまで以上の対応をすると明言している。また、各部の連携による効率的な業務運営により、行政サービスの迅速化とより高品質なサービスの提供が期待できる。

### 採決結果（委員長は除く）

賛成	反対	結果
2	3	委員会否決

※なお、その後の本会議では、賛成10 反対6 で可決されました。

## ここが知りたい議論のポイント

### 一般会計予算の主な質疑

#### ◆小・中学校の保健特別対策事業とは

質問 事業の具体的な内容と、学校現場の役割は。

答弁 小・中学校におけるコロナ感染のリスクを抑えるための文部科学省による補助事業である。各学校の判断により、コロナ感染症予防に必要なものが購入できる。児童生徒数が300人以上（角館小・角館中）では1

50万円が支給される。各教室に非接触型の体温計を常備したなどの要望がある。

#### クニマス未来館

#### 今後の運営について

質問 コロナにより入館者が減少している。運営について指定管理や三セク方式は検討していないのか。

答弁 運営方式変更の考えはない。クニマスはお借りしているものであり、飼育は市で行いたい。

#### 給食センター

#### ガス料金の増額補正について

質問 ガス料金が当初の見込み

より増加している原因は何か。  
答弁 ボイラーの温度設定を42度としていたが、食器等の油污が落ちないため、63〜65度に変更したことによるガス使用量の増加が原因である。

質問 最新設備を導入し経費削減と効率化を目指し、安全・安心な給食を提供するとしていたが、今後もマイナスイオン要素はないのか心配である。これまでの運営状況はどうか。

答弁 今回のガス使用量やエアコンが作動しなくなるなど、設備での不具合は多少発生しているが、給食の提供については順調である。

# 市民福祉常任委員会

## 新型コロナウイルス感染予防対策関連 市内診療所や三セク温泉施設などにAI検温モニターを設置へ

9月定例会の市民福祉常任委員会では、令和2年度一般会計補正予算・令和元年度決算について審査されました。新型コロナウイルス感染予防対策として、公共施設等へ検温モニターが設置される他、保育施設への衛生用品や遊具の充実が図られます。

### ■一般会計補正予算 主な内容

戸籍住民基本台帳費	752万円	海外に転出してもマイナンバーカードを使用可能にするシステム改修
斎場管理運営費	44万円	田沢湖斎場の修理費用
児童福祉施設費	1,711万円	新型コロナウイルス感染予防のため市内全保育施設へ衛生用品・遊具購入費用
検温モニター購入費	211万円	市民福祉部関係7台購入分（クリオン、にしき園、保健課、東風（だし）の湯、3診療所）

### 令和2年度病院事業会計補正予算 角館総合病院に人工透析機器を追加導入

**質問** 部屋の中は密状態にならないか。患者数の傾向は。  
**答弁** 透析室のベッド間隔は保健所から示されており、十分な余裕がある。現在の稼働率は97%で、5名の患者が待機している。今回2台購入することでそれが解消できる。

### 令和元年度病院事業会計決算認定 厳しい病院経営を議論

#### 賛成討論

- 市民目線で信頼される病院づくりに努力してほしい。
- コロナ禍で大変な状況にあるが、経営体質の改善に向けた取組みを今以上に進めるべきだ。資金不足が著しく、一般会計からの繰出しに依存している状況からの脱却は急務であり、医師確保対策をはじめとした収益向上策に努め、早期に経営安定化が図られるよう求める。

### 令和元年度 市立病院事業決算 単位：千円

	角館病院	田沢湖病院	合計
医業収益	3,137,313	652,015	3,789,328
医業費用	3,847,891	851,389	4,699,280
<b>医業利益</b>	<b>-710,578</b>	<b>-199,374</b>	<b>-909,952</b>
医業外収益	627,154	254,503	881,657
医業外費用	138,318	38,124	176,442
<b>経常利益</b>	<b>-221,742</b>	17,005	<b>-204,737</b>
特別利益	56,963	6,019	62,982
特別損失	23,329	0	23,329
<b>純損益</b>	<b>-188,108</b>	23,024	<b>-165,084</b>

ここが知りたい  
議論のポイント

一般会計補正予算の主な質疑

**保育園児免疫力アップ遊具整備事業費並びに補助金について**  
**質問** 免疫力アップ遊具とは何か。  
**答弁** コロナ感染収束の見通せない中で、保育施設屋内外の遊具の充実を図り、園児の体力増進に寄

るのか。  
**答弁** コロナ感染収束の見通せない中で、保育施設屋内外の遊具の充実を図り、園児の体力増進に寄

与したい。  
**質問** 各施設で必要とした遊具か。  
**答弁** 各保育施設（認可・認可外・私立）から希望を取ったものである。

**田沢湖斎場について**

**質問** 広域市町村圏組合では斎場の改修に取り掛かるうとしてい

**AI検温モニターについて**  
**質問** どのようなもので、どのように使うのか。  
**答弁** 購入予定しているものはスマホのような形で、その前に顔を向けると、検温と顔認証ができるようになっている。異常があるとアラームが鳴るようになってい

今後20年間使用したいとしている。田沢湖斎場は随時修理しながら20年間使用し、寿命時期が重なる北部斎場と合わせて対応を検討する。

# 産業建設常任委員会

## 第4次経済支援対策

### プレミアム宿泊支援事業9,720万円 実績対応追加分など実施へ

9月定例会の産業建設常任委員会では、主に令和2年度一般会計補正予算や令和元年度一般会計及び水道・温泉事業決算を始めとした各決算が審査されました。

#### ■一般会計補正予算の主な内容

仙北市プレミアム宿泊支援事業費	9,720万円	県発行プレミアム宿泊券1枚あたり3000円を割引するサービス
角館中心市街地活性化センター管理運営費	468万円	コロナ対策相談室の改修工事費用
3密を避けた新たなスノーリズム推進事業費	110万円	新しい冬の農山村地域リズム対策費（ガイド育成等）
多面的機能支払交付金事業費	751万円	交付金対象事業体増加に伴う増額補正
元気な中山間農業応援事業費	75万円	農地の畑地化事業費（条件不利地に有効）
道路新設改良費	△1億5,988万円	社会資本整備総合交付金事業費（交付金配分確定に伴う減額）
道路維持費	4億3,584万円	冬期交通対策費（除雪関連費）

### ここが知りたい 議論のポイント

#### 補正予算の主な質疑

**質問** 道路の除雪作業において、丁寧な除雪により、安全な走行を確保するため、オペレーターの教育体制についてはどうなっているのか。

**答弁** 除雪オペレーターの教育については、路線が変更の時は、必ず前任者と新任者が一緒に歩いて確認するように指導している。建設課としては、オペレーターの技術講習は行っていないが、建設業協会や関係団体の講習を奨励している。

**質問** コロナ対策のため角館中心市街地活性化センターの相談室の改修工事が計上されているが、コロナ収束後の利用については検討しているのか。

**答弁** 指定管理者である仙北市商工会と十分に検討を重ね、本来の目的であるホールの活用が可能な形で進める。

**質問** 元気な中山間農業応援事業は、畑地化事業の条件不利地に有効な施策であり事業の継続はできないか。

**答弁** 本事業は圃場基盤整備ができない地域にとっては有効な施策と考える。区画拡大事業は中山間地域には必要であり今後も引き続き県に働きかけていく。また、市の単独事業等も視野に入れながら対策にあたりたい。

#### 令和元年度 公営企業会計決算認定の主な質疑

**質問** 温泉事業の継続性と企業債の償還についてどのようなビジョンをもっているか。

**答弁** 今後、温泉事業を継続するためには、今のお客様を減らさないように続けていくことが先決であるが、源泉供給元の塚本総業に対しても市長、副市長を含め、再度コロナ禍に伴う減額に応じて頂くよう取組みが必要である。温泉事業は、田沢湖地区の観光の要であり、ホテルや旅館から個別に話を聞き観光商工部との連携強化を図りながら温泉事業に取り組みたい。企業債の償還については、全額、市からの繰入れで行わざるを得ないとする判断に基づくものである。今後の工事については、温泉事業基金の活用、および一般会計からの繰り入れを予定している。

#### 令和元年度 特別会計及び公営企業会計決算認定される

単位：千円

会計別	事業名	歳入 (収入)	歳出 (支出)	歳入歳出 差引額	収入 未済額
特別 会計	下水道事業	653,724	638,617	15,107	18,199
	集落排水事業	510,859	468,561	42,298	214,229
	浄化槽事業	93,236	83,139	10,097	3,459
企業 会計	温泉事業	62,273	61,307	965	8,730
	水道事業	535,413	587,536	-52,122	22,849



■温泉事業の安定継続はいかに  
(田沢湖高原分湯槽)